

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

1. 研究課題名	心不全による呼吸困難感に対するオピオイドの有効性に関する因子の探索研究
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	大阪大学大学院医学系研究科薬理学（分子医薬学）講座（兼大阪大学大学院薬学系研究科医療薬学分野） 教授 池田賢二
3. 倫理審査と承認日	【承認日】2023年10月5日 【審査】大阪大学医学部附属病院観察研究等倫理審査委員会審査を受け、大阪大学医学部附属病院・大阪大学大学院薬学研究科の研究機関の長の承認を得て実施する。
4. 研究実施期間	2023年10月6日～2026年3月31日
5. 共同研究機関および各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	大阪大学大学院医学系研究科薬理学（分子医薬学）講座・教授・池田賢二 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院薬剤部・森谷康志 大阪医科大学病院薬剤部・山田智之
6. 研究の目的・意義	日本では心不全患者が急増しており、対応のひとつとして心不全による症状への緩和ケアが求められています。心不全による症状への緩和ケアは悪性腫瘍による症状への緩和ケアを参考に実施されており、その内容や方法についての知識は十分ではありません。そして、その不十分さがゆえに心不全による緩和ケアは行われづらい状況があります。 モルヒネをはじめとするオピオイドは、悪性腫瘍による症状への緩和ケアだけでなく心不全による症状への緩和ケアにも使用される医薬品です。しかし、心不全による症状の緩和ケアに使用されるオピオイドの効果がより得られやすい患者さんの特徴は明らかではありません。オピオイドの効果がより得られやすい患者さんの特徴が明らかとなれば、心不全による症状への緩和ケアが広く行われるようになると期待されます。 そこで、この研究では、患者さんの電子カルテ（診療記録）に蓄積されたデータを分析し、心不全による症状の緩和ケアに使用されるオピオイドの効果がより得られやすい患者さんの特徴を明らかにしたいと考えております。
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	2010年1月1日から2021年9月30日の間に大阪大学医学部附属病院に入院された方、2017年1月1日から2022年5月1日に公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院に入院された方、2014年1月1日から2022年10月31日の間に大阪医科大学病院に入院された方のうち、入院期間中に心不全による症状の緩和のためにオピオイドの投薬を受けた方。心不全による呼吸困難感に対するオピオイドの有効性に関する因子の探索のために、電子カルテから情報を抽出する。
8. 利用または提供する試料・情報の項目	病歴、処方された医薬品、副作用等の発生状況、カルテ番号、生年月日、性別、検査結果等についての情報を取得し、調査します。研究のために新たに必要となる検査などはございません。データの提供は、個人を特定できる情報を除いたデータのみを取り扱い、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、電子的な方法を用いて行います。対応表は、共同研究機関および主幹研究機関の研究責任者が保管・管理します。
9. 研究対象者またはその代理人の求めにより、研究対象者が識別される資料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

10. 研究資金・利益相反	本研究は運営費交付金により実施可能であり、利益相反はありません。
11. お問い合わせ先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1 – 6 大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野 教授 池田賢二 (研究責任者) 06-6879-8251 k-ikeda.phs@osaka-u.ac.jp